



1 緊急時に備えた救急活動訓練の様子
 2, 3 沖縄県消防操法大会にて、女性小型ポンプ操法の部へ出場し、素早い動作で競技を競う女性団員。
 4 防火指導の際に、消火器の取扱い方法を指導する消防団員。

私たちの地域を守る 消防団



地域に根ざした活動

あなたにも、できる支えがきっとある

消防団をご存知ですか？普段はそれぞれの仕事についている市民が、火事や水害が発生したときに集合し、災害への対応を行う組織です。

宜野湾市消防団の活動

消防団活動勉強会を皮切りに防火指導要領の勉強会、普通救命講習の受講、ロープ結索訓練、消火栓を使った放水訓練や西海岸地区防火パトロール・津波避難訓練、防火訓練等を定期的に行っています。

特に7月～9月の台風の時期には、消防職員と連携を取り現場での被害対策や予防に努めています。

また、平成26年11月8日には第24回全国消防操法大会にポンプ操法の部で沖縄県代表として参加しました。さらに平成29年に秋田県で開催される、第23回全国女性消防操法大会にも沖縄県代表として女性消防団が出場します。

去る平成28年11月6日に行われた第1回沖縄県消防協会中部



出初式で訓練を披露した団員

地区支会消防団意見発表会においては、本市消防団員が見事、最優秀賞に輝き、平成30年3月に東京都で開催される全国消防団員意見発表会に県代表として派遣される予定です。

近年、国内における災害状況は、地震や台風、集中豪雨等の自然災害が猛威を振るい、去る、4月14日には、熊本地震により多数の尊い命が失われました。

本市においては、台風による自然災害はもとより、基地から派生する事故や不発弾処理等、沖縄県特有な消防業務があります。このような中、消防団員に求められる地域住民の期待は、高まっており、我が消防団員一同は、一致団結し郷土防災の要として、住民が安全安心して生活できるような地域に根差した消防団を目指します。



市消防団 演元朝晴 団長

interview 宜野湾市女性消防団員に聞きました 地域のため、がんばる女性消防団員



profile 女性消防団員 遠藤久美さん

第1回沖縄県消防協会中部地区支会消防団意見発表会において、最優秀賞を受賞。平成30年3月に東京で行われる全国大会に派遣が決定しています。

消防団へ入団したきっかけ

大学で学んでいた地域行政に興味を持っていた事と、宜野湾市は移り住んできた土地ではあるが、何か地域に関わる事がしたいと考えている時に募集を知り応募したのがきっかけです。

活動のやりがい

男性団員の方は、台風時暴風雨警戒で消防職員と共に実際に現場に出動することもあります。不発弾処理の際に警備など、市民の安全の為に活動できた時は喜びと共にやりがいを感じています。

訓練の内容

定例会(活動報告)、ポンプ自動車・小型ポンプ操法訓練(自動車等を実際に使った放水)、応急手当訓練、ロープ結索訓練、台風対策訓練、地震津波避難訓練、実務研修(職員と共に、無線機使用訓練、消火栓を使用した放水訓練、座学(消防団の役割、危機管理)などがあります。

女性だからこそできる役割

地震・津波もそうですが、実際の災

害時に避難の誘導や情報の聞き取りなどで女性のソフトな面が活かされるのではと思います。

家族や勤務先の理解

祭りや車いすマラソンの警備、防火パトロール、総合防災訓練への参加など、平日の動員もあり、団員は皆、家族や勤務先に理解を頂き、自分だけでなく周りの皆さんに時間を調整してもらい、支えてもらい活動しています。

最後に

私達消防団員は、日頃の訓練を通して災害時に備えております。災害や事故が起きずに、市民の皆さまが安心な毎日をご過ごせる事を願っています。しかし、災害や事故はいつ起きるかわかりません。お一人、お一人の少しの備えと注意する気持ちを持つことで防げる事故は多くあると思います。自分で出来る事を少しずつ心掛けていきませんか。